

事務事業名	41200 海上公民館活動費	予算科目	会計 一般	款	10	項	4	目	7	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
①	(海上公民館活動費)(講座)	根拠法令	社会教育法、旭市公民館の設置及び管理に関する条例、規則	戦略事業	122	生涯学習施設活動費				戦略事業	123	生涯学習講座の開催

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 56 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 〇〇 年度～ 平成 〇〇 年度まで	市民一人ひとりが、自ら学び自ら行動し、より良い生活や自己向上を高めるために、様々な学習機会を提供する事業。 ①各種講座・教室の開催：水彩画、ヨガ、陶芸、琴など。通年コースが多い。月1～2回2時間。定員15～50人程度 ②イベントの開催(海上公民館まつりなど)。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
社会教育法21条で「公民館は市町村が設置すると規定。	開始当初は、他団体・民間等で同様の事業を行っている団体は少なかったが、最近では趣味的な内容の事業を他団体でも実施している。また、住民層の学習意欲や社会意識の多様化により、多人数構成の講座には無理が生じている。	・利用者アンケートでは「ほぼ満足している」方が多い。 ・講座受講者から、マンネリ化している講座の見直しをして欲しいとの意見あり・利用者アンケートでは「地域の公共施設として無くてはならない身近な施設として不可欠である」との意見が他地域に比べて多い。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円	
1.報酬	108:公民館運営審議会委員報酬
2.報償費	950:講座等講師謝礼
3.需用費	1,098:消耗品、印刷製本費、燃料費
4.役務費	505:通信運搬費(郵送)、手数料(折込)、保険料
5.その他	27:使用料、負担金、旅費、備品購入費
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
	1.報酬	千円	150	132	144	108	234
財源	2.報償費	千円	1,071	1,090	1,225	950	1,144
	3.需用費	千円	1,051	1,125	1,190	1,098	1,334
事業費計(A)	4.役務費	千円	502	478	494	505	542
	5.その他	千円	65	202	36	27	56
		千円	2,839	3,027	3,089	2,688	3,310
財源		千円					
1.国庫支出金		千円					
2.都道府県支出金		千円					
3.地方債		千円					
4.その他		千円					
5.一般財源		千円	2,839	3,027	3,089	2,688	3,310

前年度増減理由	講座数が減少し謝金が減少した。
---------	-----------------

従事職員数 常時 5 人 最大 〇 人 × 〇 日 = 延べ 〇 人

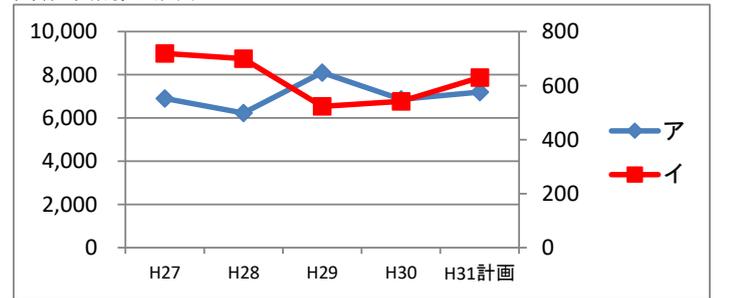
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 ・市民 ・講座に参加し知識を身に付け、教養を高め、生きがいを見つける 対象意図							
	・公民館報等により講座の募集や啓発活動に工夫する ・公民館まつり等主催事業の啓発に関して工夫・検討 ・講座の内容を精査・検討する。	ア 講座等開設数	講座	36	34	32	27	33
		イ						
		ア 講座等(主催事業)参加人数(延べ人数)	人	6,903	6,230	8,103	6,866	7,200
		イ 生涯学習講座受講者数(実人数)	人	719	700	523	542	630

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
小さい				
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
④⑤	(4)			
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	公民館まつり参加人数の減・落語を楽しもう、子どもシアター・親子で楽しむコンサートの回数減・講座参加者の減による。
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 平成31年4月から 内容 講座受講生へのアンケート結果を基に講座を検討していく。 平成31年度新規講座：塗り絵に親しむ・園芸教室・ペン字教室
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )
比較	26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 27年度 28年度 29年度 30年度 31計画 ア Δ390 Δ673 1,873 Δ1,237 334 イ 67 Δ19 Δ177 19 88
【コメント】	講座受講生へのアンケート結果を基に講座を検討していく。 令和元年度新規講座：塗り絵に親しむ・園芸教室・ペン字教室